

会報・案内

平成14年度第7回理事会議事録

- 日 時：平成14年10月22日(火)
 場 所：秋田キャッスルホテル千秋
 出 席：石垣武男, 板井悠二, 遠藤啓吾, 小西淳二
 杉村和朗, 田村正三, 中村仁信, 西谷 弘
 早淵尚文, 山田章吾各理事, 阿部公彦(監事)
 大友 邦(監事)
 欠 席：久保敦司, 隈崎達夫, 松井 修各理事
 議 題：
1. 前回議事録の承認
 2. 秋季臨床大会の報告
 3. 第62回日医放総会について
 4. 第16回医学物理士認定試験結果について
 5. 専門医更新者および新規学術集会認定単位について
 6. 定款の変更について
 7. 文部科学省実地検査報告とその対応
 8. 会計処理の委託契約について
 9. IT問題委員会(会員一元化管理)
 10. 日本医学放射線学会雑誌英文・和文誌発行予算について(継続審議)
 11. 放射線医学史編纂
 12. 総会非会員登録費
 13. デジタル画像の取り扱いに関するガイドラインについて
 14. 放射線科専門医願書提出書類の一部変更(案)について
 15. 医学物理士認定制度改定(案)について
 16. 代議員(評議員)会費及び寄附について(継続審議)
 17. 協賛, 後援について
 18. 医学放射線物理連絡協議会からの提言について(前回保留)
 19. 総会・秋季臨床大会の委員日当について
 20. 会告の承認
 - 10月号(事後報告)
 - 放射線科専門医について
 - 第16回腹部放射線研究会案内
 - 11月号 第15回医学物理士認定試験結果
 新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ
 第15回日本医学放射線学会冬季セミナー生涯教育
 講演会のお知らせ
 次々々期会長選挙のお知らせ
- 報告事項：
1. JRCの諸問題
 2. 医療用線量計の比較校正事業費について
 3. 専門医試験(予算・決算)
 4. 委員会からの報告
 - がん検診関連7学会連絡協議会

- 電子情報委員会
 編集委員会
5. その他
- 議 事：
1. 前回議事録の承認
 第6回理事会議事録(案)を承認した。
 2. 秋季臨床大会の報告
 第37回秋季臨床大会開催にあたり, 渡会大会長より報告がなされた。
 3. 第62回日医放総会について
 小西会長より演題の登録状況, および準備の進捗状況について報告がなされた。
 4. 第16回医学物理士認定試験結果について
 山田担当理事より, 第16回医学物理士認定試験が平成14年10月12日に実施されその結果, 10名の受験希望者のうち9名受験, 1名欠席, 9名を合格とした旨報告がありました承された。
 5. 専門医更新者および新規学術集会認定単位について
 平成14年度放射線科専門医更新追加認定者についての報告がありこれを了承した。また, 新規学術単位についての報告があり会告に掲載することが承認された。
 6. 定款の変更について
 遠藤庶務担当理事より定款の変更(案)について文部科学省へ提出し理事の定数について折衝中であるとの報告がなされた。また, 評議員, 代議員, 名誉会員には文書で, 会員へはメールマガジンならびにホームページで定款変更についての案内をし, 一部の方からご意見が寄せられたとの報告がなされた。
 細則については総会で承認を得なければならないので今後将来計画委員会中村担当理事, 早淵担当理事と原案作りを進めて行く予定である。学会員へのPRのためにはホームページにも定款変更案を掲載すべきとの意見が出された承された。
 総会で定款変更案が承認された場合の定款変更施行日について文部科学省へ確認をすることとした。
 7. 文部科学省実地検査報告とその対応
 板井総務理事より文部科学省から平成13年5月に行われた学会の実地検査の結果について文書が届いた旨の報告がなされた。改善を要する事項について指摘事項があり, それらについて説明がなされた。指摘事項については平成15年3月までに何らかの回答を文書で行う必要がある。今後の検討事項とすることとした。
 8. 会計処理の委託契約について
 会計処理委託について現在の委託内容を確認し, 理事会で検討後, 理事会が必要とする内容に会計処理方法を変更すること, また2年の契約自動更新については異議申し立てをすることとした。
 9. IT問題委員会(会員一元化管理)
 西谷担当理事より会員管理について数社から見積もりが出され

たとの報告がなされた。

但し、内容が明確でないので、再度委員会で会員管理の内容を検討し、各社にその内容に沿って見積もりを出していただき、その上で検討したいとの報告がなされた。また専門医試験問題プールと会員管理は分けて考えたいとの意見が出され了承された。

10. 日本医学放射線学会雑誌英文・和文誌発行予算について(継続審議)

前回からの継続審議である学会誌の件についてメディカルトリビューン社との話し合いの経過報告がなされた。来年度から和文6巻、英文6巻になった場合の予算及び会告の掲載の体裁などについて、今後もメディカルトリビューン社との話し合いを久保編集委員長、板井総務理事、隈崎財務理事が中心となり進めることを確認した。

11. 放射線医学史編纂

編纂についてお願いしている先生から予算についてどの程度あるのかできればお金を掛けて製作したい旨の意見が出されたとの報告がなされた。理事会で検討後、来年度予算にどの程度組み入れることが出来るか今後の検討事項とすることとした。

12. 総会非会員登録費

板井総務理事より、JRCの理事会で総会の参加費について会員と非会員の差がなく会員のメリットがないのではないかと意見が出され日医放の理事会で検討することとなった旨の報告がなされた。理事会で検討後、非会員は正会員の5割増し、学生会員は1000円、海外留学生は会長に一任とすることが承認された。

13. デジタル画像の取り扱いに関するガイドラインについて

石垣担当理事よりデジタル画像の取り扱いに関するガイドライン1.1版が出来たので学会誌に掲載していただきたい旨報告があり、これを了承した。

14. 放射線科専門医願書提出書類の一部変更(案)について

前回の理事会で審議された内容について確認を行った。診断・核医学の症例登録については専門医認定試験受験資格の条件に加えることとし、受験申請書の内容を再度検討、論文投稿についてはもう少し検討することとした。

15. 医学物理士認定制度改定(案)について

山田担当理事より10月12日に開催された医学物理士認定委員会で、医学物理士認定制度の改定案について話し合われた結果について、資料に基づき報告がなされた。一部申請資格の表現に不明瞭な点があるので検討いただき、承認することとした。

16. 代議員(評議員)会費及び寄附について(継続審議)

板井総務理事より代議員と会員との会費に差を設ける件について隈崎財務委員長と案を検討中であるとの報告がなされた。

17. 協賛、後援について

CARSから小西会長宛後援依頼の手紙が届いたとの報告がなされた。これについては従来通りとすることを確認した。CARSへは会長からご返事いただくこととした。

18. 医学放射線物理連絡協議会からの提言について(前回保留)

早淵担当理事より前回の理事会に提出し再度医学物理連絡協議会で検討を行い、改定案について報告がなされた。理事会で検討後これを了承し、会報に掲載することとした。

19. 総会・秋季臨床大会の委員日当について

板井総務理事より総会及び秋季臨床大会の折に開催されている各種委員会の日当について廃止したい旨の提案が出され理事会で検討後承認された。

20. 会告の承認

10月号(事後報告)

放射線科専門医について

第16回腹部放射線研究会案内

11月号 第15回医学物理士認定試験結果

新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ

第15回日本医学放射線学会冬季セミナー生涯教育講演会のお知らせ

次々々期会長選挙のお知らせ

21. その他

1) 遠藤庶務担当理事より日本医療機能評価機構から診療ガイドラインのアンケート依頼があった旨の報告がなされた。理事会で検討後アンケートに回答することとした。

2) 次々々時期会長選挙については会告11月号に掲載

選挙の予定は前回の理事会で配布した資料通り行うことを確認した。

報告事項:

1. JRCの諸問題

板井総務理事より10月7日開催された理事会の報告がなされた。

2. 医療用線量計の比較校正事業費について

医療用線量測定研究会星会長との今後の線量測定事業についての会計処理の進め方について話し合った結果の報告がなされた。まだ検討すべき点もあるので再度検討いただくこととした。

3. 専門医試験(予算・決算)

今年度の試験会場、および運営費の報告がなされた。

4. 委員会からの報告

がん検診関連7学会連絡協議会

平成14年8月29日開催の委員会報告が高橋睦正先生より提出された。

電子情報委員会

石垣担当理事より9月16日開催された委員会報告がなされた。編集委員会

西谷担当理事より10月16日開催された委員会報告がなされた。英文誌発行に伴い投稿規程の見直しを行う予定。

将来計画委員会

中村・早淵担当理事より8月30日開催された委員会報告がなされた。各種委員会の活性化について将来計画委員会でまとめた案をメールマガジンで会員から意見を伺う予定。

その他

1. 杉村理事より前回の理事会で出された卒後臨床研修における日本医学放射線学会から各大学病院院長宛に出された要望書について、全国の臨床研修病院院長宛にも出して欲しいとの要望が出された。

2. 遠藤理事より外保連への日医放からの代表として出席していた土器屋先生が常任委員になられたので、日医放から代表を出す

必要がある。治療関係の先生を健保委員会で検討中である旨の報告がなされた。

第63回健保委員会議事録

日 時：平成14年10月24日(木)12:00～13:00
 場 所：秋田ビューホテル 百合の間
 出席：遠藤啓吾(担当理事・委員長)
 中村仁信(担当理事・副委員長)
 水沼仁孝(副委員長), 築根吉彦, 望月輝一
 井上佑一, 煎本正博, 福田国彦, 細矢貴亮
 川平幸三郎, 佐藤守男, 高橋正樹
 村山貞之各委員
 欠席：佐々木康夫, 関谷 透, 吉川 淳, 梶原康正
 田村正三, 田中良明, 日下部きよ子
 河野 敦各委員

議 題：

1. 前回の議事録の確認
2. 委員長等の選出

委員長：遠藤啓吾(担当理事)

副委員長：中村仁信(担当理事) 水沼仁孝

3. 最近の話題より(遠藤委員長)

- 1)放射線科専門医の広告

「放射線科専門医」の広告が10月1日より可能となった。要件は学会が法人であること、専門医の研修期間が5年以上であること、学会員が1,000人以上の団体であることであり、このため、脳外科、内科、臨床検査がはずれた。

- 2)画像診断管理加算

専門医であれば経験10年未満でも画像診断管理加算を請求できるようになった。

4. 健保活動体系の説明(遠藤委員長)

すでに理事会で承認されているが、健保実行委員会は放射線科専門医会・医会(以下JCR)保険委員会と合併し、委員はJCR保険委員会委員となった。

1)保険点数改正項目を放射線関連学会ととりまとめ、その資料を作成

- 2)不理事案の把握と疑義解釈委員会への提出

- 3)厚生労働省からの問合せに対する一元的解答

5. 議題

- 1)保険に関する放射線科医への教育

・総会, 秋季臨床大会, ミッドサマーセミナーにてレクチャー開催

・タイコメディカルにて作成した説明文を手直しして会員用テキストにする。

2) 都道府県ごとの放射線科審査委員を把握したいため、地方会選出委員は次回健保委員会(2003年4月日医放総会)で報告

3) 都道府県審査にて出されている問題点のJCR保険委員会への通報

- 4) 診療実態を反映する日医放修練機関更新資料の作成：再度、

聖マリアンナ医大中島教授に検討を要請

5) 土器屋委員が外保連検査委員長になり常任委員となったため、欠員となった治療担当委員として星川嘉一先生(聖マリアンナ医大)を日医放外保連手術委員会委員として推薦する。

6) 平成16年4月が大改定の時期にあたりその要望取りまとめ時期は平成15年6月となるため、地方会からの改定要望項目を来春の総会時開催の健保委員会に間に合うよう提出のこと。

7) 隔画像診断の受信側施設基準の縛りはずすときの条件・報酬

8) 入院, ICU, 療養型病床群では画像診断管理加算が請求できなくなっており、マルメ化が進んだ場合の対処法の検討。具体的文書を12月の関東地方会時に開催するJCR保険委員会で遠藤委員長が作成、厚生労働省にもってゆくこととなった。

9) 今回減額されたMRの保険点数の妥当性をチェックするため、MRの機器別購入費・ランニングコストを調査することになった。

- 10) 煎本委員より外保連検査委員会からの報告

乳房撮影を新たに収載した。試案の総論に「診断結果の報告書作成に関わる時間の算定」に関する記載がされ、検討項目となった。

平成14年度第2回放射線防護委員会議事録

日 時：平成14年10月23日(水)11:45～13:30
 場 所：秋田ビューホテル5F 百合
 出席：西谷 弘(担当理事), 石口恒男(委員長)
 阿部由直, 古賀佑彦, 中村仁信, 藤岡睦久各委員
 欠席：石垣武男, 岩波 茂, 金子昌生, 日下部きよ子
 草間朋子, 佐々木武仁, 平岡真寛, 西澤かな枝
 町田喜久雄, 竹田 寛, 吉田祥二各委員

議 事

1. 平成14, 15年度防護委員会の構成について

西谷理事, 阿部委員の紹介があった。新委員として、野坂俊介(国立生育医療センター)が加わることとなった。

2. 最近の医療放射線関連事故について

岩手県立黒沢尻北高校で2001年11月29日に物理の授業中、超軟X線発生装置SOFTEXによって生徒の指にX線が照射され、皮膚障害が発生した事例について紹介があり、学生、生徒の安全を保証する法令がないことから、ICRP勧告にもとづいた法令整備の要望について検討することとなった。

放射線治療計画装置のウエッジフィルタ係数の誤入力による過照射が生じた件について、放射線物理協議会から日医放理事会ほかに定式化の要望があり、放射線腫瘍学会で協議される予定であるとの報告があった。

3. ACRの出版物「Response to Radiological Terrorism」の翻訳を、防護委員を中心に専門医会の援助を受けて行われており、現在粗訳が終了し、古賀委員が監訳作業中であるとの報告があった。JCRニュースへの掲載の他、JCRホームページに掲載するなどの可能性について、ACRに確認する予定である。

4. 小児CTの被ばくについて意見が交換され、体重別に撮影条

件を調節することの必要性について啓蒙を行うこととなった。当日のシンポジウムで西谷理事が発表の予定である。

5. 妊娠初期に人間ドックで胸部部CTと消化管透視を受けた女性からの相談について紹介があり、若年者のCT健診については慎重であるべきとの意見があった。

平成14年度第5回将来計画委員会議事録

日 時：平成14年10月24日(木)13:00～14:30
 場 所：秋田キャッスルホテル平安
 出 席：中村仁信(委員長・担当理事)
 早淵尚文(副委員長・担当理事), 角藤芳久
 高橋元一郎, 蒲田敏文, 石口恒男, 佐藤守男
 廣田省三, 大川元臣, 清 哲朗, 岡崎正敏
 桑原康雄, 菅 一能各委員
 欠 席：江原 茂, 大淵真男, 竹田 寛, 阪口 浩
 本田憲業, 芦澤和人各委員

議 事：

1. 各種委員会について

前回の委員会で審議され各委員会から出された活動状況についてのアンケート結果について報告がなされた。これらを基に今後の各委員会の改正案について早淵副委員長より説明がなされた。

1)各委員会は原則として担当理事が委員長を兼ね、理事会の責任体制をよりはっきりさせる。副委員長は委員長が委員会の活動を活発に行える委員を指名する。また、理事の担当委員会の数を少なくして(理事は委員長が1つだけ)責任をもって仕事をしやすくする。

委員会メンバーも原則として1つまでしかなれないようにして学会中の委員会がダブらないようにする。

2)任期は全ての委員会で4年として、委員は二分の一ずつ交代とする。再任(という言葉に統一、重任という言葉は使わない)は原則禁止。

3)新理事会とその担当理事を決めたら、新しい委員会を発足できるようにする。

各委員は出来るだけ各地方会から選出されるよう検討し、自薦、他薦(委員長推薦)から選出。上記内容について会員にメールマガジンで意見を求めることとした。

2. 日医放選挙について

中村委員長より代議員選出方法について前回審議された内容をまとめた案について資料を基に報告がなされた。

代議員への立候補資格(案)

1. 日本医学放射線学会での会員歴10年以上
2. 以下の項目から5年間に10点以上を満たすこと

(1)放射線医学に関する原著論文、総説、著書

- ・主著、共著を問わない
- ・3点以上を必須とする
- ・将来は学会誌を必須とする

(2)放射線医学に関する学会発表(筆頭者のみ)および座長

- ・日本医学放射線学会およびその関連学会・研究会で全国的な

集会に限る(地方会は含まれない)

(3)日本医学放射線学会理事会で承認されている各種委員会委員・年度が変わっても同一委員会では1点とする

(4)日本医学放射線学会総会および秋季大会のプログラム委員・年度が変わればそれぞれ申告できる

上記について委員会です承され、メールマガジンで会員より意見を伺うこととした。

3. その他

佐藤委員より放射線学会に求められているものとしてまとめられた意見が出され、委員会で検討した。それぞれの担当委員会へ意見として提案されたほうが良い意見もあるので整理し提案してはどうかとの意見も出された。

特に以下の二点についてはメールマガジンで広く会員の意見を聞くことになった。

1 臨床研修必修化でスーパーローテイトの時代を迎え放射線科の限られた期間での研修医教育についての工夫

2 医学生、研修医への放射線医学への啓蒙のため(あるいは興味をますため)の工夫

第64回電子情報委員会議事録

日 時：2002年10月24日(日)12時0分より13時5分
 場 所：秋田キャッスルホテル 会議室
 出 席：石垣武男(委員長), 稲邑清也(副委員長)
 安藤 裕(副委員長), 煎本正博, 江本 豊
 越智 誠, 尾辻秀章, 紀ノ定保臣, 榎橋民生
 木村通男, 黒田知純, 佐々木康夫, 島本佳寿広
 滝沢正臣, 西谷 弘, 小寺吉衛(JSRT)
 松井美楯(JSRT)

オブザーバー：梅田, 飯山, 松田

欠 席：大山永昭, 佐古正雄, 澤田 敏, 三宅秀敏
 宮坂和男, 森 宣, 倉西 誠(JSRT)

資料(1) 前回議事録

(2) 第1回画像診断報告書検討小検討委員会

(3) 読影時間集計レポート

(4) CyberRad 2003

1. 前回議事録確認

訂正なく承認された。

2. 遠隔画像診断部会 西谷

本日、第3回の遠隔画像診断部会が合同シンポジウムとして開催される。

第4回 遠隔画像診断部会を来年4、5月頃開催するように準備している。

第1回、第2回を開催し、収支報告があった。

3. 小委員会報告

3.1 画像診断報告書検討小委員会 佐々木

第1回画像診断報告書研究会を9月21日行い、95名の参加者を得た。

年2回位の開催を予定している。工業会からも小委員会へ参加

してもらいたいで、JR3Cへ依頼することになった。

- ・現状調査
- ・SRの試用版

などの報告があった。

第1回画像診断報告書研究会の収支報告があった。

3.2標準化対応小委員会 稲邑

- ・小委員名簿
- ・ISO/TC215メルボルン会議について
議長が交代になったなどの報告があった。

3.3 液晶モニタ研究班

研究班を立ち上げる準備をしている。

電子情報委員会として検討する予定。

4. CyberRad小委員会より報告

CyberRad2003の場所を横浜パシフィコアネックスホールで行うことになった。

機器展示場で行う計画もあったが、CyberRad展示スペースが11月まで決定できないため、アネックスホールで開催することになった。

- ・テーマ展示「E-Hospital 2003を目標して - バリアフリーな部門間画像情報の連携 - 」
- ・チュートリアル

(_)IHE入門

予定演者：細羽 実，木村通男，石垣武男，稲邑清也
成松 亮，倉西 誠，小寺吉衛，岡崎宣夫
安藤 裕

経済産業省から見たIHE(仮題)経済産業省 TBN

厚生労働省から見たIHE(仮題)厚生労働省 TBN

(_)CyberRad関連

14演題を計画している。講師には依頼済み。詳細は、資料4参照。

・一般展示

学術展示の範疇に合致した演題を一般公募し、CyberRad委員会で採否を決定する。2002年の締め切りは、11月1日。

一般演題の口演発表(1題10分を予定)

4セッション 6題 4=24演題を予定(約4時間)。

平成14年度 第3回広報委員会議事録

日 時：2002年10月25日(金)12:00~13:30

場 所：秋田ビューホテル 会議室

出 席：西谷 弘(担当理事・委員長)

安藤 裕(副委員長)，岡田 進(副委員長)

山下 孝，本田 憲業，江本 豊，松本 恒各委員

欠 席：中村健治，横倉稔明，吉岡哲也，煎本正博

尾川浩一，村山貞之，野崎美和子，山田章吾

神立 進，ウツハムス玲子

資 料：(1)前回議事録

(2)広報誌『広報らじおるじー』

1. 前回議事録案を承認した。

修正なく承認。

2. 委員の更新

任期の切れる安藤，江本，本田委員に重任をお願いする。

その他に、宇部短期大学 情報処理研究室 森山博教先生 moriyama@pub.ube-c.ac.jpをお願いする。

opinionメーリングリストで若干名を募集する。

3. 広報誌(患者向け)の進捗状況の報告(岡田)

名前は『広報らじおるじー』とし、発行は日本医学放射線学会広報委員会とする。著作権は日本医学放射線学会所属とする。

広報誌の主旨を表紙に明記する。発行番号を記載する。

学会のweb pageから紹介をする。

次号以降は、会員や一般から原稿を募集することにした。

T製薬に広告料をお願いする。その費用で印刷費用をまかなう。

10万部の印刷をお願いする。A4で8ページを予定。

配布は、MRをお願いする。

PDFファイルにして学会のホームページからダウンロードできるようにする。

4. opinionメーリングリスト

現在約2,600名が登録されている。11月以降のモデレーターを下記のように分担した。

11, 12月 本田，煎本，小川

1, 2月 村山，野崎，山田

3, 4月 山下，神立，松本

モデレーターは、広告や間違いメール以外は、特に内容を変更せずに配送する。

また、モデレーターは、ホームページの中にあるリンクのチェックを最低1ヶ月1回程度行い、エラーリンクは、メーリングリストで報告する。

5. JRSホームページ

海外のホームページから放射線医学関連情報を収集し、その内容の概略を日本語に訳して紹介する。

同時にオリジナルのページがある場合にはリンクする。

松本委員が担当する。

6. 学会のIT化について

専門医認定委員長との協議内容が報告された。

teaching fileの標準化(IHEのプロファイル?)の可能性を検討することとした。

会員のオンライン管理について仕様を詳細に検討することとした。

平成14年度第2回教育委員会議事録

日 時：平成14年10月25日(金)12:00～13:30
 場 所：秋田キャッスルホテル平安
 出 席：松井 修(担当理事・委員長), 石口恒男
 草野正一, 工藤 祥, 三橋紀夫, 渡会二郎各委員
 欠 席：久保敦司(担当理事), 荒木 力, 池添潤平
 鬼塚英雄, 小川敏英, 竹田 寛, 西村恭昌
 平岡 武各委員

議 題

松井委員長より常設基本プログラムワーキンググループについての基本方針について説明がなされた。

1. 基本方針として長期の展望に立った講演題目, および演者の選定を行い, 全領域をカバーし, 基本的事項が抜けないようにする。

2. 講演題目および演者のデータベース化

3. 教育委員会と大会長の関係 プログラムワーキンググループに大会準備委員会から委員を選出していただき委員のメンバーになっていただく。

1. 常設基本プログラムワーキンググループについて
 教育委員会常設基本プログラムワーキンググループとして下記委員を選出した。(敬称略)

診 断

- 1. 中枢神経, 脊髄, 頭頸部
細矢貴亮, 井上佑一, 小川敏英
- 2. 胸部, 心血管
村田喜代志, 栗林幸夫, 竹田 寛
- 3. 肝・胆・膵・消化管
森 宣, 荒木 力
- 4. 泌尿・生殖器, 乳腺・内分泌
杉村和朗, 中島康雄, 工藤 祥
- 5. 骨・関節, 軟部, 脊椎
福田国彦, 江原, 鬼塚英雄

I V R

- 6. IVR
中村健治, 吉川公彦, 草野正一

核医学

- 7. 核医学
本田憲業, 井上登美夫, 久保敦司

治 療

- 8. 放射線治療
晴山雅人, 渋谷均, 西村恭昌, 渡会二郎, 三橋紀夫
 - 9. 放射線生物・物理, 放射線機器
小野公二, 三橋紀夫, 篠原広行
 - 10. 画像工学, PACS, 遠隔診断, 医療情報
石垣武男, 草野正一, 安藤 裕
 - 11. 防護, 法令, 保険, 経営, 医療制度
西谷 弘, 土器屋卓志, 石口恒男
- 講演内容については各分野で検討。

来年の総会担当大学へ委員を選出いただく旨連絡する。
 委員への委嘱状を事務局より送付する。
 教育講演は基本として全部門を組み入れ, 朝1時間半, 夕方1時間半のプログラムを組んでいただくよう要望する。

2. 卒後研修 super rotation 採用時の研修のあり方について
 super rotation が採用された後の専門医の修練年限について配慮する必要がある。そのためのカリキュラムの検討も必要となる。学会への入会時期を何時とするか等の問題も含め, 今後専門医認定委員会とともにこの問題を検討する必要がある。継続審議とすることとした。

3. 卒前教育・卒後臨床教育についての指針について
 小川委員より出されているがこの件については今後の検討事項とすることとした。

4. その他

教育講演についてのアンケートをデータベースとして作成することも重要。

(第37回の秋季臨床大会の時に図表に纏められ報告された)。各教育講演の参加者数を調査しておくことも重要である。

平成14年度 第4回デジタルマンモグラフィ 評価基準作成小委員会議事録

日 時：平成14年11月22日(金)19:00～20:15
 場 所：鹿児島県医師会館 3F 中ホール
 出 席：遠藤登喜子, 川島博子, 角田博子, 東野英利子
 鈴木隆二, 永井優一, 堀田勝平各委員
 オブザーバー：

- 榊原俊文, (東芝メデイカル製造)
- 早乙女滋(富士写真フイルム),
- 北村和明, 大高幸子(富士フイルムメデイカル)
- 山田 清, 伊知地宏志(コダック)
- 櫻井 諭(GE横河メデイカルシステム)
- 笠井 聡(コニカ株式会社)
- 奈良井和宏(京都科学株式会社)

議 題：

1. デジタルマンモグラフィ評価用ファントムについて
 堀田委員設計および永井委員設計の2ファントムのS/Fとデジタル写真のサンプルを全員で評価し, 今後の方針について検討した。

堀田委員のファントムはACR156ファントムにステップチャートを組み合わせて, ステップチャートに100および200ミクロンの模擬石灰化を星型に6個貼付したものである。FCRでは5000, 9000, 5000MAの3機種にて資料を収集し, ACRファントムの乳腺濃度 1.5 ± 0.05 の条件でこれをハードコピー出力したものを評価した。ゆらぎをみるために2回の撮影がなされ, 各機種2枚が提出された。DMR2000Dでは乳腺線量 $1.5mGy$ となる条件にて撮影。愛知県がんセンター病院のS/Fシステムフィルムと3箇所2000Dによるファントム写真がraw dataでの焼付けと臨床条件での焼付けの各施設2枚セットとして, 提出された。コニカ, 富士, コダックの

レーザーイメージャによる焼付けであった。

ステップチャートの100ミクロンの模擬石灰化はすべての写真で観察されず、これを入れることが無意味であることが明らかとなった。かわりに模擬腫瘍を入れることとした。その大きさと厚さについては検討し、12月いっぱいを作成する。各機種とも3箇所にてファントム画像および臨床画像を収集することとした。

永井ファントムは高価でもあり、実用は困難であると評価された。

第417回日本医学放射線学会雑誌 & Radiation Medicine編集委員会

日 時：2002年12月18日16：00～18：00
場 所：メディカルトリビューン社3階会議室
出 席：久保敦司理事(委員長)、井上登美夫、笹井啓資
窪田宣夫、三橋紀夫、大友 邦各委員
欠 席：西谷 弘担当理事、今井 裕、稲田陽一
鎌田 正、小泉 満、斎藤秀敏、原田潤太
牧田幸三各委員

1. 投稿原稿の現況報告

平成14年度(12月18日現在)の投稿数は66件であった。平成13年度に比して12件増加した。今後も投稿を促す対策を検討してゆく。また、投稿論文の査読に関し編集委員の判断にあまる場合は、編集委員会において検討することを確認した。

2. 2003年1月号の掲載予定

秋季臨床大会シンポジウム「心臓画像診断 現状と展望」の掲載にむけて編集中である旨の報告があり、了承された。

3. 巻頭言の依頼

新理事に対して巻頭言の執筆を依頼することを決めた。

4. 総説論文の依頼の件

秋季臨床大会の教育講演を総説論文として依頼し、その諾否の状況、ならびに入稿状況の報告があり了承された。総説論文は、今後も学術大会、秋季臨床大会における教育講演を対象として執筆依頼することを確認した。

5. 日本医放会誌掲載論文優秀論文賞候補の検討

編集委員による評価に基づいた検討により、優秀論文賞候補を決定し、理事会に推薦することになった。

6. 投稿論文の査読者リストの件

治療、核医学、物理分野の査読者リストが示され、了承された。また、査読者に対し査読依頼時に査読者の推薦を依頼、そのリストも提示された。

7. 投稿規定の検討

Radiation medicine誌の学会誌への移行に関し、投稿規定の見直しについて今回も検討をおこなった。日本医放会誌は、投稿規程には筆頭投稿者は学会の正会員に限るとしており、制限を定めないうRadiation Medicine誌との整合性をどうするかを検討。前回の委員会でもとくにRadiation Medicine誌に投稿者を制限しないという意見で一致した。

8. 編集委員会議事録の件

前回の編集委員会議事録より学会誌の会報案内に掲載されることが報告された。

9. 放射線治療ワークショップ

鎌田委員より、アジア原子力協力フォーラム-放射線治療ワークショップ公開講座について紹介があり、日本医放会誌、またはRadiation Medicine誌にその特集記事を掲載する方向で、準備を進めることを決めた。

Radiation Medicine編集委員会

投稿状況の報告があった。Radiation Medicine誌も投稿論文数は減少傾向にあり、投稿勧誘の対策をおこなう必要があるとし、そのひとつとしてインパクトファクターを上げるための具体策を検討し、実施してゆくことを決めた。